

各位

2024年4月24日

株式会社システムサポート

**システムサポート、山陰合同銀行のクラウド共通基盤に Microsoft Azure、
データ分析基盤に「Azure Data Factory」「Azure Synapse Analytics」の導入を支援
ビジネスアジリティの大幅な向上、データドリブンな経営を実現**

株式会社システムサポート（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：小清水 良次、以下 STS）は株式会社山陰合同銀行（本店：島根県松江市、取締役頭取：山崎 徹、以下 山陰合同銀行）に対し、クラウド共通基盤として Microsoft Azure、データ分析基盤として「Azure Data Factory」「Azure Synapse Analytics」の導入を支援しました。これらは 2023 年 6 月より稼働を開始しており、同行のビジネスアジリティの大幅な向上、データドリブンな経営の実現に貢献しています。

■ 概要

山陰合同銀行は「IT の活用により当行の全てをより良くし、競争優位を確立します」をキーワードに DX 戦略を推進しています。この DX 戦略におけるデジタル戦略チャネルの位置づけでは競争優位性向上施策としてクラウド共通基盤とデータ分析基盤の導入を決定、その構築パートナーとして STS を選定しました。クラウド共通基盤には Microsoft Azure を選定、先進技術を活用した基盤の構築により、デジタル戦略チャネルの DX 施策を実現。またマーケティングオートメーション実現の施策としてデータ分析基盤の導入を行いました。

■ 山陰合同銀行のビジネスにおける課題と解決策

- ①ビジネス機会を逃さないためのアジリティ（俊敏性）や BCP（事業継続性）水準の低さ
- ・パブリッククラウドを導入することでアジリティと可用性の向上を実現、データ分析基盤のベースとなるデータウェアハウスソリューションと STS の提案の親和性より Microsoft Azure を採用
 - ・パブリッククラウド導入メリットを最大限に享受できるように、クラウドネイティブな構成を採用することで BCP 対策を実現
 - ・クラウド共通基盤としてネットワーク設定ルールの標準化を行い、サーバーやリソースの組込みに要する時間短縮を実現
 - ・事業継続に関わるデータは「Storage Accounts」の機能により遠隔地への保管、有事におけるデー

タの消失を回避

②特定ベンダーへの依存

- ・継続的に手が加わるデータ分析基盤はアジリティと柔軟性を目的に内製開発を前提としたサービスを選定。Azure のデータウェアハウスソリューションである「Azure Data Factory」と「Azure Synapse Analytics」を採用することにより、データ分析に必要な ETL 処理を GUI 操作で実現
- ・「Azure Data Factory」、「Azure Synapse Analytics」を中心としたトレーニングを行うことにより内製開発を実現、これにより銀行主導による迅速なサービス提供が可能となった

③データ処理作業の冗長化やデータ不整合・誤謬リスクの解決

- ・システム開発に着手する以前にデータ不整合・誤謬防止を目的に、利用者が使いやすい一定のルールを「データマネジメント標準」として制定した。またデータ変換についても設計時に変換標準ルールを策定した
- ・データ処理作業として ETL に可用性の高い PaaS を採用、また耐障害性および冪等性を考慮したリトライ設計を行うことでデータ不整合を低減
- ・データ分析基盤内でのデータの「持ち方」として、データレイク、ステー징、DWH、DM の 4 層構造とすることで、分析業務上想定していないデータに対するリカバリ、再実行を可能な仕組みとした

■今回導入したソリューション

クラウド共通基盤においては、Microsoft が提唱する「Azure ランディングゾーンアーキテクチャ」に則ったハブアンドスポークネットワークトポロジを採用、これにより通信とセキュリティ要件の効率的な管理を実現しました。またセキュアなネットワークが求められる金融機関ならではのクラウド利用要件は、オンプレ環境と専用線（Express Route）接続、および Private Link を使用し Azure 上で閉域網を構築し実現しました。

データ分析基盤では、Azure のデータウェアハウスソリューションである「Azure Data Factory」と「Azure Synapse Analytics」を利用することにより、スケーリングを可能とし、データのクレンジング、標準化を実現しました。

本導入事例に関する詳細はこちらの記事をご覧ください。

<https://www.cloud-koubou.jp/case/gogin/>

■STS の提供する Azure 導入サービスについて

<https://www.cloud-koubou.jp/azure/>

●株式会社山陰合同銀行について

山陰合同銀行は、島根・鳥取両県をはじめ、山陽、兵庫・大阪をカバーする広域な店舗ネットワークを活かし、皆さまの多様な金融ニーズに積極的にお応えしてまいります。

所在地： 島根県松江市魚町 10 番地

代表： 取締役頭取 山崎 徹

URL：<https://www.gogin.co.jp/index.html>

●株式会社システムサポートについて

1980 年の設立以降、IT システムの企画から開発、運用・保守をワンストップで提供。近年ではデータベースやクラウド基盤、ERP パッケージなどの分野での技術力を強みとしています。オリジナルパッケージとしては、建て役者（建築業向け工事管理システム）や SHIFTEE（クラウド型シフト管理システム）、就業役者（勤怠・作業管理システム）を開発・販売。お客様の ICT 環境を支援するサービスを幅広い業界で提供しています。

所在地： 〒920-0853 石川県金沢市本町 1-5-2 リファール 9F

代表： 代表取締役社長 小清水 良次

上場市場： 東京証券取引所 プライム市場（証券コード 4396）

URL：<https://www.sts-inc.co.jp>

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社システムサポート

経営企画部 城（きずき）

TEL: 076-265-5151

※Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。